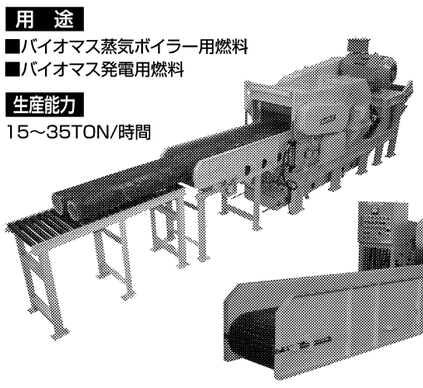
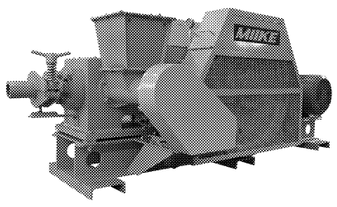
未利用資源の有効利用をめざす MIIKE

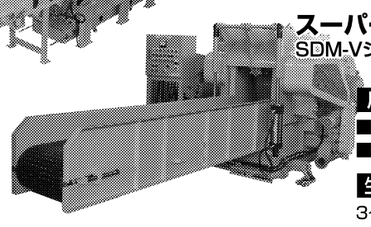
木材切削チッパー機
ドラムチッパー MDRシリーズ
用途
■バイオマス蒸気ボイラー用燃料
■バイオマス発電用燃料
生産能力
15～35TON/時間



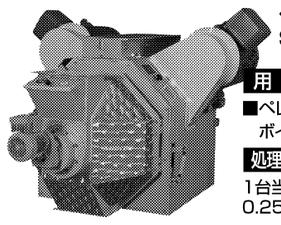


ブリケット成形機
MBMシリーズ
用途
■オガ粉、バーク（木の皮）、プレーナー屑等バイオマス資源の固形・燃料化
処理能力　200～350kg/時間

オガ粉製造機
スーパーオガライザー
SDM-Vシリーズ
用途
■菌床・家畜の敷料として
■木質ペレットの原料
生産能力
3～10TON／時間



ウッドペレット造粒機
ペレットミル
SPMシリーズ
用途
■ペレットストーブ、ボイラーの燃料として
処理能力
1台当り
0.25～3TON／時間



株式会社 御池鐵工所
〒720-2124 広島県福山市神辺町川南396-2　☎(084)963-5500 FAX(084)963-5508
関東営業所☎048-261-1166　九州営業所☎092-629-0450　札幌営業所☎011-223-1208
[URL]http://www.miike.co.jp

〝木〟にかかわる業界の情報交換の場に

16日から18日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイト西3ホールで「2014TOKYO国際木工機械見本市／グリーン産業フェア」が開かれる。主催は日本木工機械協同組合。2年に一度開催し、今回で40回目を迎える。木材利用を推進する最新の加工技術や、木工機械でつくる木材製品を展示。学識経験者らによるセミナーや、来場者による人気コンテストを実施する。また今回は新たに、出展者を対象とした木工機械先端技術・新製品コンクールや、経営相談コーナーを設ける。来場者数は3日間で、前回の約8500人を上回る1万人を見込んでいる。開催時間は9―17時。入場料は500円。日本木工機械協同組合のホームページからダウンロードして、印刷した招待券を持参すると無料になる。

2014TOKYO国際木工機械見本市
グリーン産業フェア

あす開幕

18日まで東京ビッグサイト

最新の加工技術や木材製品を展示

日本木工機械協同組合は木工機械のメーカーとディーラーを組合員として、1951年5月に設立された。53年9月に第1回優良製材木工機械展を東京で行った。旧都立美術館、都立産業会館大手町館などでの開催を経て、96年4月に東京ビッグサイトの完成に伴って、こけら落としで第32回の展示会「96東京国際木工機械展」を実施し、以降は東京ビッグサイトで開催している。

今回は「今、感じる新たな技術と木の魅力」がテーマ。木材の利用を進める機械と情報の展示会として開催する。家具メーカーや建具メーカー、住宅メーカー、木型メーカー、工務店、設計事務所、環境関連メーカー、窯業素材などの加工メーカー、大学・研究機関などの来場を見込んでいる。展示や関連イベント、セミナーなどを通じて、日本の森林と木材が創る明日を展望してもらおうとしている。

出展者数、小間数は71社・団体、195小間で、前回の52社・団体、158小間を上回った。内訳はTOKYO国際木工機械見本市が48社・団体、173小間、木工機械でつくる木材製品の展示フェアであるグリーン産業フェアが23社・団体、22小間。

今回は加工技術や加工機械の関係で、住宅や木材、建材、家具、建具などの加工に役立つ機械、刃物、工具、ソフトウエア、関連資材を展示する。

このうち、ツーバイフォー住宅の生産を支援する部材加工機械関係では、ツーバイフォー用屋根材カットラインが出品になる。

モノづくりの現場では生産性、品質の向上などを図るため、コンピューター化された機器の導入が進んでおり、木製品産業も例外ではない。今回も木材加工関係で、高速送り、高精度な切削加工を実現するコンピューター数値制御（CNC）機器として、CNC複合ボーリングマシンが展示される。このマシンは刃物やテーブルの動きを数値制御する。そして軸に設置した刃物が高速で回転し、材料を削って加工する。さらに自動工具交換装置（ATC）が付いていて、刃物交換によるタイムロスを防ぐようになっている。

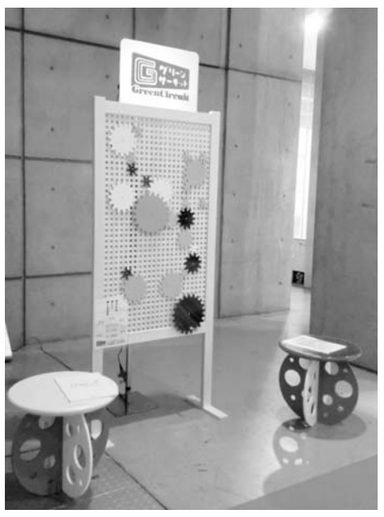
また、テーブルの天板やドアに化粧板の縁材を貼り付ける作業に対応するエッジバンダー（縁貼り機）や、カッター自動研磨機、塗装関連機器、バイオマス関連機器、小型集塵機、のり付け機、破砕機、粉砕機、電動工具などが出品される。

グリーン産業フェアで中核になる展示として、前回に続いて2回目となる「グリーンサーキット」がある。

グリーンサーキットは木工機械、家具、建具の業界有志によって継続的に開催されている勉強会のことであり、安藤直人東京大学名誉教授が塾長を務めている。安藤名誉教授が指導する業際的な研究活動の成果、木工ビジネスの製品作りの今後の可能性を集中展示する。

勉強会で話題を提供した林野庁や日本CLT協会、東大大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻などがゲストとして展示ブースを設営する。

木造住宅に欠かせないプレカット材を生産する設備（前回展示会より）



グリーンサーキットは木工ビジネスの製品作りの今後の可能性を集中展示（前回の展示）

木材加工に欠かせないカッター類（前回の展示物から）

コスト削減と生産力アップを実現した複合両木口NCダボ打ち機（前回の展示品から）

コンクールやセミナーも開催

今回初めての試みとして、木工機械先端技術・新製品コンクールの開催と、経営相談コーナーの設置がある。

木工機械先端技術・新製品コンクールは、出展者を対象としたもの。服部順昭東京農工大学名誉教授、藤井義久京都大学教授、村田光司森林総合研究所加工技術研究領域長の3人で構成する評議委員会が、これからの日本の木材産業、木工機械産業を創る出展技術を審査する。国土交通大臣賞をはじめ、林野庁長官賞、関東経済産業局長賞、評議委員会委員長賞、輸入木工機械優秀賞の各1点を16日に決定し、同日に会場内に掲示する。

経営相談コーナーは日本木工機械協同組合の特設ブースとして、開設する。弓崎伸彦新日本スーパーマーケット協会シニアアドバイザーが来場者からの相談に対応する。

従来から行っている木工機械人気コンテストについては、今回も実施する。このコンテストはお気に入り出品物を来場者に選んでもらうもので、投票者にはプレゼントを進呈。コンテストの上位3社を最終日の18日に決定し、表彰する。

このほか、「木材工業の最新情報」と銘打ったセミナーを3日間、東京ビッグサイト西展示棟5階の特別研修室で開く。

16日は10時半からドイツのハウジングスペシャリストであるアルビン・シエガルト氏が「ヨーロッパにおけるCLT製造・利用の最新事情」、13時半から藤井京大教授が「伝統木造を護る～伝統木造から学ぶ」と題して講演する。17日は10時半から青木謙治東大大学院講師が「大規模木造の普及・推進に向けて」、13時半から村田森林総合研究所加工技術研究領域長が「国産材のマテリアル利用～製材加工を中心として～」について講演する。18日は10時半から服部東京農工大名誉教授が「木質耐火部材の最新情報～開発の必要性と開発事例～」、13時半から山下晃功島根大学名誉教授が「木育をビジネスに活かせ、6次産業＋α」に関して語る。聴講無料。

経済産業省の生産動態統計年報機械統計編によると、木工機械、製材機械、そして繊維板機械を含む合板機械の合計は、13年が前年比1・5％増の229億9500万円だった。木工機械関係者によると、木造住宅の柱や梁（はり）、羽板材、パネルなどをコンピューターを取り入れて加工するプレカット業者が設備の入れ替え時期にある。また、住宅の屋根や床などに使う構造用合板の加工や、国内の製材の需要があることから、一時期落ち込んだ木材加工機械の生産金額が回復している。

TOKYO WOODWORKING MACHINERY FAIR 2014

木材の利用を進める
2014 TOKYO 機械と情報の展示会
国際木工機械見本市
グリーン産業フェア

街に森林（まち もり）を創る技術に出会う3日間

木育…CLT…木校舎…CO2…日本材…
特別展示 グリーンサーキット
全国合板1枚作品コンペ 優秀作品展
先端技術・新製品コンクール
国土交通大臣賞
林野庁長官賞
関東経済産業局長賞
評議委員会委員長賞
輸入木工機械優秀賞
新製品人気コンテスト
セミナー 木材工業の最新情報
アルビン・シエガルト ハウジング・スペシャリスト
青木謙治 東京大学大学院講師
藤井義久 京都大学 教授
村田光司 森林総合研究所 加工技術研究領域長
服部順昭 東京農工大学 名誉教授
山下晃功 島根大学 名誉教授

主な出展者
青山工機／伊藤鐵工所／井上電設／岩田機械産業／ウッドミック／えのきだ／大井工業／オカベ／沖機械／カミヤ精機／協和機工／キンダイマシン／小林機械工業／コムネット／サンキ／三雄工業／三洋貿易／庄田鉄工／信越工機／シンクス／新東工機製作所／大気テクノ／大日精工／テクノトゥールズ／東京オートマック／常盤工業／巴産業／日新興産／日本建機／ハーフェレジャパン／ハイウィン／ヒグマ乾燥機／フソー／二葉工業／平安コーポレーション／ホルツテクニカ東京／ホルツテクニカナゴヤ／前田機工／マシン・トレーディング／御池鐵工所／水内ゴム／道刃物工業／弥栄鉄工／ヤタカ木工機／山本ビニター／リョーワ／レーザーコネクト／レコルト／ロイコ・ジャパン／森林総合研究所／東京農工大学／木材塗装研究会／グリーンサーキット／全日本木工機械商業組合／経営（助成金等）相談コーナー

10月16日（木）-18日（土）
会場／東京ビッグサイト 西3ホール
時間／9：00-17：00
入場料／500円
主催／日本木工機械協同組合
http://www.mmjp.or.jp/nichimoku

〒105-0011
東京都港区芝公園3-5-8　機械振興会館505号
TEL: 03-6435-8215 / FAX: 03-6435-8224
E-mail:nichimoku@tokyo.email.ne.jp